

鉄骨造 平屋倉庫（クレーン対応） 自主施工 最終版 2.2

図面集 付録 プレート・金物図／別途工事一覧

鉄骨造平屋倉庫 新築工事（江田島市） S-09・S-10 プレート図／A-07 別途工事・施主手配材料一覧

この書類の役割

3Dビューや図面集では小さすぎて描いていない金物の寸法図と、鉄工所ではなく施主が手配する材料の数量一覧。図面集（②）の後ろに綴じて使う。

収録内容

- S-09 プレート図（1）ベースプレート・外ダイアフラム
- S-10 プレート図（2）継手添え板・ガセット・受けピース・ストッパ・ボルト一覧
- A-07 別途工事・施主手配材料一覧（基礎材料・屋根外壁材・建具・電気・クレーン機器）

4冊セットの構成

- 設計・製作・施工 指示書
設計士・鉄工所へ渡す本体。条件・部材・接合・発注条件・予算
- 図面集（意匠図A・構造施工図S）
A-00～A-06、S-01～S-08 の15枚
- 図面集 付録
プレート・金物図（S-09・S-10）と別途工事一覧（A-07）
- 施工手順書・作業手順書
工程表・発注・安全・工程別手順・記録シート

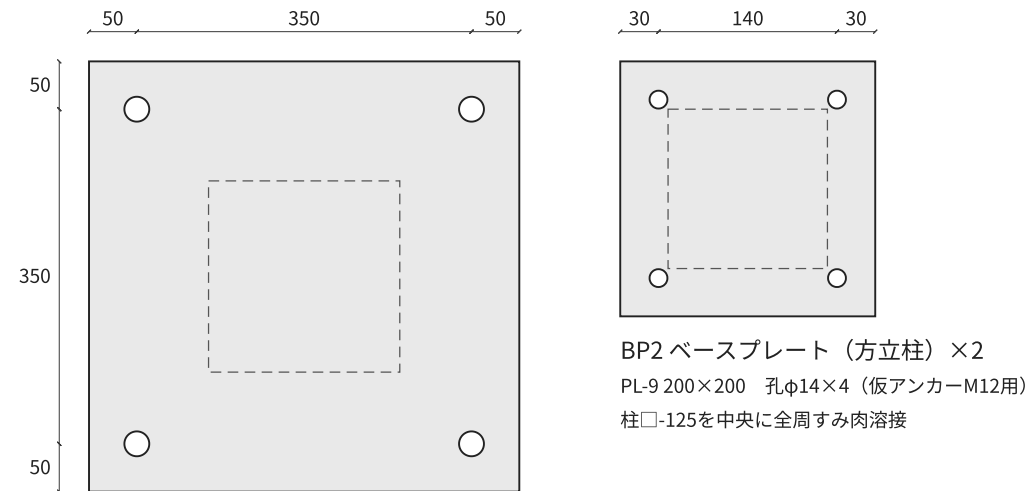
建設地：広島県江田島市（海岸沿い） 施主・施工：自社
間口6,000 × 奥行10,000 × 軒高5,100／5,600 片流れ折板屋根
露出柱脚（半固定）＋地中梁 鉄骨約4.8t 490kgクレーン対応
3Dビュー：<https://claude.ai/artifact/BXQSFTqRAbmMUZ8xxRXnNb>

本書の数値は簡易計算による計画値です。構造の最終責任は建築士の構造計算にあります。作成 2026.09.20

工事名	鉄骨造平屋倉庫 新築工事（江田島市）	
図面名	表紙	図面番号 S-09の前
縮尺	なし	2026.09.20施工計画案 最終版

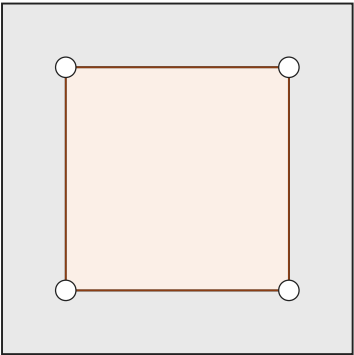
プレート図 (1) ベースプレート・外ダイアフラム

3Dビューでは省略している金物。すべて工場で柱に溶接して出荷する（ボルト孔は工場加工）。

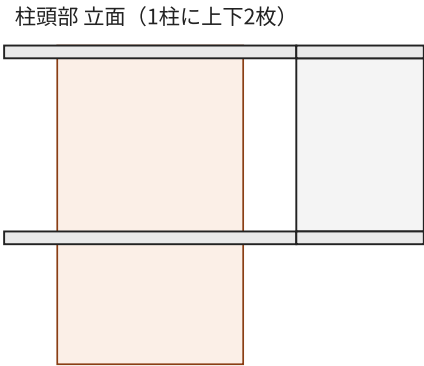


BP1 ベースプレート（主柱・露出柱脚）×8
PL-28 450×450 孔φ26×4 @350×350（アンカーM24用）
柱□-200を中央に全周溶接（開先+すみ肉）。裏面平滑
破線＝柱の位置、四隅にリブは不要（板厚で受ける）

BP2 ベースプレート（方立柱）×2
PL-9 200×200 孔φ14×4（仮アンカーM12用）
柱□-125を中央に全周すみ肉溶接



外ダイアフラム ×32（平面）
PL-12 275×275、中央に175角の穴（柱が通る）
四隅にスカラップ φ16（柱の角Rを逃がす）
柱の四周に全周溶接。梁短材・ブラケットのフランジと同レベル



柱頭部 立面（1柱に上下2枚）
ブラケット部も同じ考え方で上下2枚
（H-150 なので間隔150）

数量・重量

部材	数	kg/枚	計kg
BP1 PL-28 450×450	8	44.5	356
BP2 PL-12 250×250	2	5.9	12
外ダイアフラム PL-12	32	3.9	125
合計			493

なぜ外ダイアフラムが要るか

角形鋼管の壁は6mmしかない。梁やブラケットのフランジ力をそのまま当てると管壁がへこむ。板を四周に回して、力を柱全体に分散させる。H形鋼の柱なら内部スチフナで済むが、角形鋼管は内部に手が入らないので外側に付ける。

工場での溶接順序

①柱を定尺切断→②外ダイアフラムを差し込み位置決め・全周溶接→③梁短材・ブラケットをダイアフラム外縁に溶接→④BP溶接→⑤受けベース・ガセット→⑥めっき

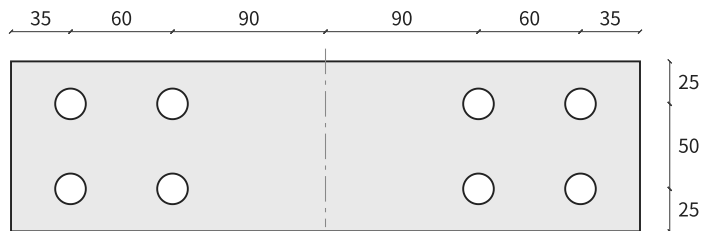
梁短材 G1（H-200）

外ダイアフラムは短材の上下フランジと同じ高さ

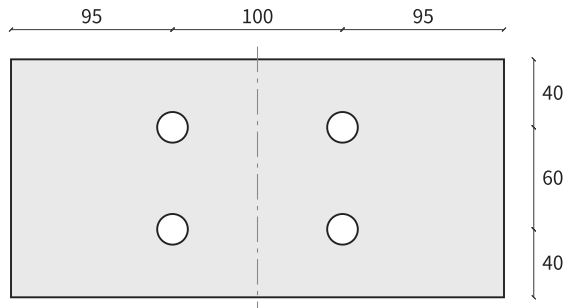
工事名	鉄骨造平屋倉庫 新築工事（江田島市）		
図面名	プレート図 (1)	図面番号	S-09
縮尺	1:1.7	2026.09.20施工計画案 最終版	

プレート図 (2) 継手添え板・ガセット・受けピース・ストッパ

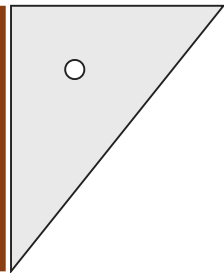
添え板とストッパは現場ボルトで取り付ける部品（工場で孔あけ済み）。ガセット・受けピースは工場で母材に溶接。



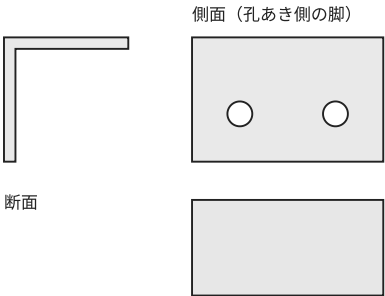
フランジ添え板 PL-9 100×370 ×2枚／継手（上・下フランジ外側） 孔φ18×8
ゲージ50・縁端25（M16の最小縁端22を満たす）



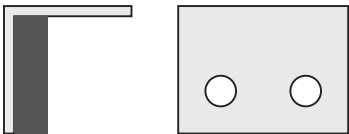
ウェブ添え板 PL-6 140×290 ×2枚／継手（ウェブ両側） 孔φ18×4
継手1箇所＝フランジ板2＋ウェブ板2＋M16×20本。継手は8箇所（勾配梁4本×両端）



ブレースガセット PL-9 200×250 ×8（壁 M20用、孔φ22・中央スパン）
屋根用 PL-9 150×200 ×4（M16用、孔φ18）
太線側を柱（または梁）に両面すみ肉溶接。孔はブレースの芯がガセット溶接線と柱芯の交点を通る位置に
ブレース側はクレビス（二又金具）をピンで留める



母屋・胴縁受けピース L-65×65×6 L=100 ×約110
片脚に孔φ13×2 @50（中ボルトM12）。もう片脚を柱・梁にすみ肉溶接。C形鋼のウェブをこの脚に当ててボルト留め
取付位置：胴縁@1,000（GL+1,000～5,000）、母屋@1,500



エンドストッパ L-75×75×6 L=100＋ゴム t20 ×6
走行レール両端（4）とガーダ両端（2）。孔φ18×2でフランジにM16ボルト留め。黒＝ゴム緩衝材
ボルト一覧（鉄工所手配）
・高力ボルト M16 F10T：継手160＋レール32＋軒桁・まぐさ16 ＝ 208本
・中ボルト M12（めっき）：母屋・胴縁 約220本
・ピン M20×8、M16×4（ブレース） ターンバックル M20×4、M16×2
・アンカーボルト M24 ABR400 L=800 定着板付 ×32、M16 L=500 ×8（テンプレート付）
・すべて溶融亜鉛めっき品またはSUS。予備各1割

工事名	鉄骨造平屋倉庫 新築工事（江田島市）	
図面名	プレート図 (2)	図面番号 S-10
縮尺	1:1.25 ほか	2026.09.20施工計画案 最終版

3Dビューに描いてあるが「鉄骨部材リスト」には入らないもの。鉄工所ではなく施主が手配する材料と、別途工事の一覧。数量は発注の当たりで、実測・製作図で確定する。

基礎工事（自社施工・材料手配）

材料	数量	内訳・備考
生コン Fc21 スランプ15	約19m ³	フーチング4.6+台座0.3+柱型1.9+地中梁2.9+土間9.0（+ロス）
鉄筋 D16	約120m	柱型主筋32m、地中梁86m
鉄筋 D13	約120m	フーチング底筋 @200タテヨコ
鉄筋 D10	約240m	帯筋・あばら筋（加工品で発注可）
ワイヤーメッシュ 6φ-150	60m ² （+重ね）	2m×1m 約38枚
碎石 C-40	約8m ³	土間下t100+フーチング下
防湿シート t0.15	約70m ²	
型枠材	一式	柱型・地中梁・フーチング側面（コンパネ約30枚、栈木）
レベルモルタル・無収縮グラウト	25kg×4袋	台座天端調整
ポンプ車・残土処分	各1式	外注

クレーン機器（後日・施主購入）

品目	数量	備考
KITO 電気チェーンブロック 490kg 電動トロリ付	1	揚程4m以上、AC200V、ペンダント操作
ケーブルキャリア（ガーダ上）	5.5m分	電源ケーブル用
フランジ付車輪 φ100 耐荷重300kg	4	端台車用。鉄工所支給でも可
動力配線・分岐ブレーカ	一式	電気工事士

どの図面に載っているか

3D表示	図面
フーチング・柱型・地中梁・土間	S-01 基礎伏図、A-04 矩計図、S-05 柱脚詳細
折板・角波・シャッター	A-03 立面図、A-05 屋根伏図、A-06 仕上表・建具表
ホイスト・フック	S-06 クレーン詳細、A-06 設備概要

屋根・外壁・樋（自社施工・材料手配）

材料	数量	備考
ガルバ折板 88型 t0.8 嵌合式	L=6,600 × 18枚	働き幅600、10,600÷600。塩害地はSGL
タイトフレーム（嵌合用）	約53m	母屋3列＋軒桁2列×10.6m。M8ボルト SUS
水上面戸・水下エプロン面戸（有孔）	各10.6m	
けらば包み	6.6m×2	Y1・Y4端
角波ガルバ t0.35 縦張り	約165m ²	働き幅による。長さ5.1～5.6m
コーナー役物・水切り・見切り	一式	出隅4本、土台水切り32m
軒樋 半丸105 ガルバ	11m	X1側、受け金具@600
たて樋 φ60、集水器	2本、2個	Y1・Y4端
ステンレスビス（外壁用）	約2,500本	@200～300
シーリング（変成シリコン）	15本	役物まわり

建具・電気・その他

品目	数量	備考
LIXIL 電動ガレージシャッター W3,500×H2,500	1	外部付木造用壁後付、S型ボックス、停電時室内開閉
シャッター下地 木材 105角（防腐）	約14m	方立柱・まぐさの受けピースにボルト固定
分電盤・引込・幹線	一式	電気工事士（単3 100/200V）
LED高天井灯 100W相当	4	勾配梁下に吊る
コンセント（100V×4、200V×1）・配管配線	一式	
足場（単管）レンタル	一式	外周30m×高さ6m

工事名	鉄骨造平屋倉庫 新築工事（江田島市）	
図面名	別途工事・施主手配	図面番号 A-07
縮尺	なし	2026.09.20施工計画案 最終版